



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年2月7日に開示いたしました「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社

コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森 広仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,160	△4.3	△575	-	△606	-	△432	-
25年3月期第3四半期	6,437	△17.2	△605	-	△571	-	△70	-

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △190百万円(-%) 25年3月期第3四半期 △74百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△34.83	-
25年3月期第3四半期	△5.70	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	10,686	3,867	36.2	311.29
25年3月期	10,385	4,058	39.1	326.59

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,867百万円 25年3月期 4,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	11.8	△600	-	△600	-	△450	-	△36.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,969,000株	25年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	544,498株	25年3月期	543,266株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	12,425,222株	25年3月期3Q	12,426,325株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新興国の経済成長が鈍化する一方、米国経済は堅調に推移するなかで、欧州についても最悪期を脱し回復の兆しが見えてきており、先行きについては不透明さは残るものの、景気回復の期待感が高まっております。

一方、わが国経済も、金融緩和をはじめとする経済政策等の効果により、為替相場の円高是正や株価の回復、及び消費マインドや企業業績の改善が見られるなど、景気は回復基調にあります。しかしながら、円安進行のなかでも輸出が伸びないなかで貿易赤字が解消せず、産業の空洞化が懸念されます。

当社の需要先である半導体業界においては、パソコンや液晶テレビ等の低迷が継続しているものの、自動車向け及びFAシステムやパワー半導体等産業向けが堅調を維持し、スマートフォンやタブレットなどの携帯情報端末向けは安定的に推移しました。このような状況下で半導体製造装置に関してはメモリーメーカーやICファウンドリメーカーの積極投資により前工程の市場環境は改善しましたが、当社グループの主たる取引である後工程に関しては、依然投資が盛り上がり、当初計画されていた投資案件が第4四半期以降に先送りとなるなど低調な推移となりました。

このような事業環境において、当社グループは、平成24年4月にスタートさせた中期経営計画

「Innovation 3」に基づき、経営基盤の強化と企業価値の増大を目指し、既存製品の市場開拓強化、トランスファー・コンプレッション・モールド(略称：TCM)など薄型パッケージ用の新製品の拡販及び新技術の開発等を精力的に行いました。国内市場においては車載系デバイス関連のパッケージ開発及び拡販を積極的に推進いたしました。

この他、遊休資産となっていた当社連結子会社のAPIC YAMADA (THAILAND) CO., LTD. の工場等を売却したことによる譲渡益を171百万円計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,160百万円(前年同四半期比4.3%減)、営業損失は575百万円(前年同四半期は営業損失605百万円)、経常損失は606百万円(前年同四半期は経常損失571百万円)、四半期純損失は432百万円(前年同四半期は四半期純損失70百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①電子部品組立装置

電子部品組立装置につきましては、携帯情報端末向け、LED関連及び車載系などでモールド関係の設備を中心に投資の動きが見られましたが、半導体向けは、第3四半期に計画されていた投資案件が第4四半期以降に先送りとなるなど低調に推移しました。また、新規製作案件が多く想定以上に納期が長期化し、期内での売上が伸びませんでした。この結果、売上高は4,123百万円(前年同四半期比0.3%減)、セグメント損失は132百万円(前年同四半期はセグメント損失62百万円)となりました。

②電子部品

主にリードフレームの生産である電子部品については、引き続き生産性の向上、歩留まり改善等により収益性の改善に取り組みましたが、一般半導体及びLED共に厳しい価格競争が継続しました。また、リードフレームの材料価格が上昇し、損益面で大きな影響を与えました。この結果、売上高は1,702百万円(前年同四半期比7.6%減)、セグメント損失は12百万円(前年同四半期はセグメント損失125百万円)となりました。

③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の販売であります。リードフレームを使用する半導体の設備投資につきましては慎重な状況が継続し、低調に推移いたしました。この結果、売上高は334百万円(前年同四半期比27.0%減)、セグメント利益は18百万円(前年同四半期比60.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、10,686百万円(前連結会計年度末は10,385百万円)となり、前連結会計年度末と比較して300百万円増加いたしました。これは主に、売掛金及びたな卸資産の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、6,818百万円(前連結会計年度末は6,327百万円)となり、前連結会計年度末と比較して491百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,867百万円(前連結会計年度末は4,058百万円)となり、前連結会計年度末と比較して190百万円減少いたしました。これは主に、円安に伴い為替換算調整勘定の赤字幅が縮小しましたが、一方、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は36.2%(前連結会計年度末は39.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期会計期間(10月～12月)に見込まれていた受注が海外半導体メーカーを中心に年明けにずれ込んだこと、受注に新規製作案件が多く想定より納期が延びたこと等により、今期中に見込まれる売上が当初計画を下回る見通しとなり、さらに開発要素が多いことにより当初想定以上に製造コストが嵩み収益面でも計画を下回る見通しとなりました。また、海外子会社の業績が海外半導体後工程メーカーの設備投資が慎重に推移したことにより、連結決算においても当初計画を下回る見通しとなりました。よって、平成25年5月14日に公表した業績予想の見直しを行い、下記のとおり平成25年12月26日に業績予想の修正の公表をいたしました。

平成26年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,790	百万円 130	百万円 200	百万円 190	円 銭 15.29
今回修正予想(B)	9,200	△600	△600	△450	△36.21
増減額(B-A)	△1,590	△730	△800	△640	—
増減率(%)	△14.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	<u>8,226</u>	<u>△819</u>	<u>△835</u>	<u>△485</u>	<u>△39.10</u>

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、連結対象子会社のアピックアシスト株式会社は清算したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続しており、前連結会計年度までに2期連続で多額の営業損失を計上いたしました。このような状況により、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するという前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況が存在しております。

この状況に対して当社グループは、平成24年度から3年間を対象とした事業構造改革・生産改革・営業改革の3つの改革(Innovation3)を柱とした「中期経営計画」を策定し、諸施策を実行してまいりました。この中期経営計画は、①半導体市場において劇的な環境変化に対応できる企業体質を構築し、新たな価値の創出により海外市場を中心にシェアの拡大を図ること、②シリコンサイクルに影響される事業形態からの脱却を目指し、新技術の開発を推進し新たな市場への参入と早期に収益化を図ることを目的として策定いたしました。当社グループは、この中期経営計画の着実な実現をとおして、既存の半導体事業の強化と新規事業の拡大を図り、これによる経営基盤の強化を強い決意で取組んでおります。

また、財務面に関しましては、当面の事業遂行上、十分な手元資金を有しておりますが、引き続きメインバンク等との良好な関係を維持し、安定的かつ弾力的な資金調達を行っていく所存であります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,217,351	3,039,257
受取手形及び売掛金	※ 1,448,249	※ 1,718,244
商品及び製品	773,203	1,162,045
仕掛品	951,408	1,243,323
原材料及び貯蔵品	182,998	182,495
その他	500,608	185,871
貸倒引当金	△2,629	△2,450
流動資産合計	7,071,191	7,528,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,053,445	1,019,634
機械装置及び運搬具(純額)	343,707	305,869
土地	607,899	511,589
その他(純額)	125,102	118,813
有形固定資産合計	2,130,154	1,955,906
無形固定資産	103,490	79,815
投資その他の資産		
その他	1,089,731	1,127,257
貸倒引当金	△8,920	△5,522
投資その他の資産合計	1,080,810	1,121,734
固定資産合計	3,314,456	3,157,456
資産合計	10,385,647	10,686,244
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	998,843	1,765,662
短期借入金	2,800,000	2,825,000
1年内返済予定の長期借入金	288,388	222,388
未払法人税等	11,878	9,357
賞与引当金	53,799	35,442
製品保証引当金	15,310	14,166
その他	625,206	617,101
流動負債合計	4,793,426	5,489,119
固定負債		
長期借入金	607,634	448,118
退職給付引当金	775,900	747,613
その他	150,487	133,654
固定負債合計	1,534,021	1,329,385
負債合計	6,327,447	6,818,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	<u>△1,062,513</u>	<u>△1,495,280</u>
自己株式	△100,009	△100,161
株主資本合計	<u>4,674,977</u>	<u>4,242,057</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,861	6,979
為替換算調整勘定	△620,639	△381,297
その他の包括利益累計額合計	<u>△616,778</u>	<u>△374,318</u>
純資産合計	<u>4,058,199</u>	<u>3,867,739</u>
負債純資産合計	<u>10,385,647</u>	<u>10,686,244</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,437,285	6,160,671
売上原価	5,431,267	5,083,200
売上総利益	1,006,017	1,077,471
販売費及び一般管理費	1,611,874	1,653,296
営業損失(△)	△605,857	△575,825
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,538	5,797
為替差益	41,535	13,892
受取技術料	1,113	17,761
その他	55,866	45,996
営業外収益合計	101,053	83,447
営業外費用		
支払利息	56,403	55,604
売上債権売却損	1,335	297
持分法による投資損失	3,390	48,374
その他	5,610	9,611
営業外費用合計	66,739	113,887
経常損失(△)	△571,543	△606,266
特別利益		
固定資産売却益	55	177,774
受取保険金	503,508	—
特別利益合計	503,564	177,774
特別損失		
固定資産売却損	213	—
特別損失合計	213	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△68,192	△428,491
法人税、住民税及び事業税	3,967	4,275
法人税等調整額	△1,323	—
法人税等合計	2,644	4,275
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,837	△432,767
四半期純損失(△)	△70,837	△432,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<u>少数株主損益調整前四半期純損失(△)</u>	<u>△70,837</u>	<u>△432,767</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,672	3,118
為替換算調整勘定	1,820	145,562
持分法適用会社に対する持分相当額	2,600	93,779
その他の包括利益合計	<u>△3,250</u>	<u>242,459</u>
四半期包括利益	<u>△74,088</u>	<u>△190,307</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△74,088</u>	<u>△190,307</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>4,136,226</u>	1,842,265	<u>5,978,492</u>	458,792	<u>6,437,285</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,910	—	1,910	44,410	46,321
計	<u>4,138,137</u>	1,842,265	<u>5,980,403</u>	503,203	<u>6,483,606</u>
セグメント利益又はセグメント損失(△)	<u>△62,702</u>	△125,042	<u>△187,745</u>	47,124	<u>△140,620</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△187,745</u>
「その他」の区分の利益	47,124
セグメント間取引高消去	351
全社費用(注)	△465,588
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△605,857</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>4,123,668</u>	1,702,171	<u>5,825,840</u>	<u>334,831</u>	<u>6,160,671</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,068	—	7,068	29,608	36,677
計	<u>4,130,737</u>	1,702,171	<u>5,832,909</u>	<u>364,440</u>	<u>6,197,349</u>
セグメント利益又はセグメント損失(△)	<u>△132,229</u>	△12,498	<u>△144,728</u>	<u>18,753</u>	<u>△125,975</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△144,728</u>
「その他」の区分の利益	<u>18,753</u>
セグメント間取引高消去	78
全社費用(注)	<u>△449,928</u>
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	<u>△575,825</u>

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません